

第4期「ひっとプラン港北」地区計画

推進のためのガイドライン

「ひっとプラン港北」地区計画は、地域の特性や資源を活かしながら、地区住民が主体となって、地域のつながりづくりや支え合いを進めるための具体的な取組計画です。

このガイドラインは地区計画を推進する際に進め方の参考としていただくために、考え方や手順を解説したものです。

1 ひっとプラン港北（港北区地域福祉保健計画）とは

「誰もが安心して健やかに暮らせるまち 港北」を目指し、地域住民と関係団体、行政等が連携して地域の福祉保健課題の解決に取り組み、助け合いや支えあいのある地域づくりを進めるための計画です。

◆ **基本理念** 誰もが安心して健やかに暮らせるまち 港北

◆ **計画期間** 令和3年度～令和7年度（第4期計画）

◆ **推進の柱** 「ひろがる」「つながる」「とどく」

推進の柱	主 旨	説 明
ひろがる	理解と参加のひろがりによる活発な地域づくり	世代を超えて理解と参加を促し、活発で持続可能な地域づくりを進めます。
つながる	人のつながりで進める安心なまちづくり	住民同士の交流と多様性の理解を進め、健康で安心して暮らせるまちづくりを進めます。
とどく	支援がとどく仕組みづくり	必要とする人に的確に支援が届く仕組みづくりや、身近な地域で相談できる環境整備を進めます。

◆ 計画の構成

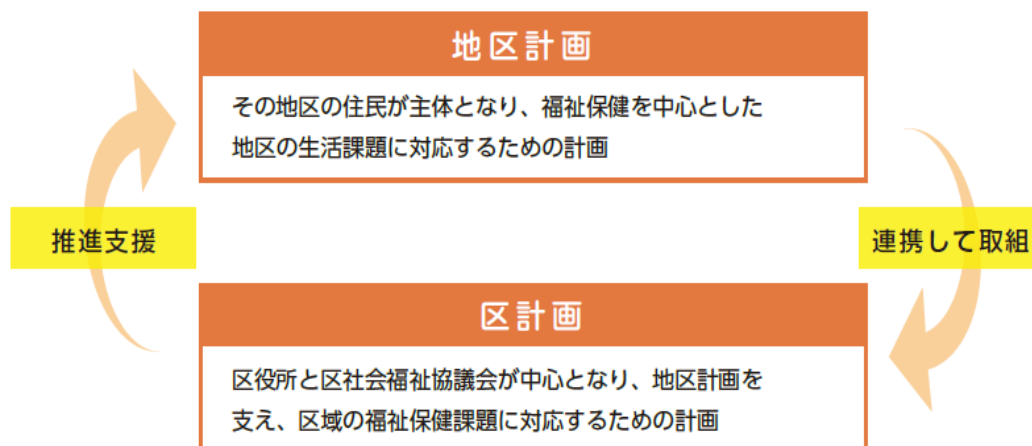
13の連合町内会・地区社会福祉協議会ごとに定める「地区計画」と、「区計画」から構成されています。

地区計画

その地区の住民が主体となり、地域の特性や資源を活かしながら、福祉保健を中心とした地区の生活課題について検討し、解決していくために策定・推進する計画。

区計画

区役所と区社会福祉協議会が中心となり、各地区計画での取組とも連携しながら、区域の福祉保健課題について検討し、解決していくために策定・推進する計画。



2 地区計画の進め方

ここでは、地区計画推進に向けた手順の目安を記載しています。話し合いや意見集約については、地区の状況にあわせて柔軟に行ってください。なお、推進委員会開催前には、進行方法や資料等の確認のため、サポートスタッフと事前に打ち合わせをしていただくようお願いします。

新型コロナウイルス感染予防のため、多数のメンバーが参加する推進委員会の開催が困難となっています。石鹸での手洗いや手指消毒の徹底、マスク着用や参加人数の検討など、「3密」を回避する対策を行い、感染予防を優先しながら、可能な範囲で話し合いや意見集約を行うようお願いします。

<可能な話し合いや意見集約の例>

- ・部会ごとの話し合いを中心にして、全体会議は部会の代表者のみで行う
- ・議題を絞り、短時間での開催に留意する。

(1) 推進委員会の開催

推進委員会は、年度初め（5～6月ごろ）と年度末（2～3月ごろ）の最低年2回を目安に、地域主体で頻度を設定します。

年度初めの推進委員会では、年度の活動の方向性を検討します。また、計画を円滑に進めるための組織体制を検討し、推進委員を選定しましょう。推進委員名簿を作成すると、体制が分かりやすくなります。

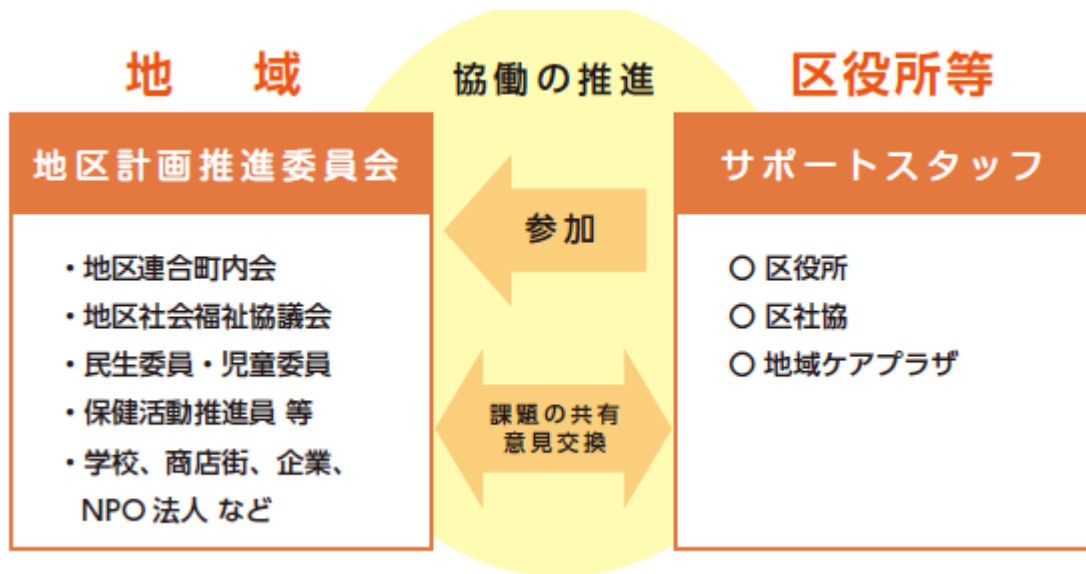
<推進委員の例>

- ・地域住民
- ・自治会町内会関係者
- ・地区社協関係者
- ・民生委員・児童委員、主任児童委員、保健活動推進員などの地域の委嘱委員
- ・老人クラブ（シニアクラブ）
- ・食生活等改善推進員
- ・学校職員・PTA・学校・地域コーディネーター
- ・地域内の施設職員等
- ・当事者組織
- ・地域のボランティアグループ・市民活動団体
- ・NPO法人等関係者

※地区連合町内会、地区社協、地域支えあい連絡会等の既存の組織の活用も可

◆サポートスタッフ（区・区社協・地域ケアプラザ）

区役所・区社協・地域ケアプラザは、多様化・複合化する生活課題への住民の取組を支援します。社会情勢の変化を踏まえて、それぞれが持つ事業との連動を意識しながら、地域住民とともに地域の特性に合わせた解決策を検討していきます。区役所・区社協・ケアプラザの三者が「サポートスタッフ」として連携し、地域との協働を進めていきます。



年度末の振り返りは、地区で取り組んできたことと、取組の成果を共有し確認します。

地区計画は、住民主体で取組を進めることを重視するものであるため、「何ができたか、何回できたか」だけでなく、様々な人々や団体の参加のもと話し合いを重ね取り組んだ等、プロセスも一緒に確認していくことが大切です。特に実施回数が減少した取組であっても、継続して実施できていること、多様なメンバーの参加が見られていること等についても、住民と一緒に確認し、多角的に評価していくことが大切です。

<令和4年度スケジュール>

年度	月	区計画	地区計画 ※スケジュール例
令和4年度	4月		
	6月		第1回 推進委員会
	8月		随時 推進委員会や部会を開催 随時：具体的な活動の推進
	9/21	策定・推進委員会	
	10/28	ほくほくフェスタ	
	12月		
	2月	計画推進状況の振り返り・地区計画ニュース発行	第2回 推進委員会

Additional details from the diagram: A large blue arrow points downwards from the '策定・推進委員会' (Formulation/Promotion Committee) in September to the '計画周知' (Plan Awareness) box in April. A blue box labeled '若い世代に向けた広報企画' (Publicity plan for young generations) is positioned between the April and August rows. A large blue arrow points downwards from the '随時：具体的な活動の推進' (Promotion of specific activities) box in August to the '第2回 推進委員会' (2nd Promotion Committee Meeting) in February.

(2) 取組の周知

具体的な取組は、毎年度末に「地区計画ニュース」を発行し、住民へ周知します。

また「ほくほくフェスタ」における「区民フォーラム」の中で、テーマに基づく地区の取り組みを発表いただく場合もありました。

【平成30年度地区計画ニュース】




【平成29年度区民フォーラム】

区民フォーラム 14:00～16:00

**「地域がつながるみんなの“居場所”
～誰もがとどえる交流の場づくり～」**

港北区でも、こどもから高齢者まで、多世代に渡る交流の場が増えていきます。皆さんも、小さなつながりから始めてみませんか。



【発表団体】

- ◆「師岡子ども学習会」（師岡地区）
- ◆「ホットカフェ」（城郷地区）
- ◆「障がい児者のよりどころ
ふれんど」（日吉地区）

【コーディネーター】
豊田 宗裕氏（聖徳大学心理・福祉学部 教授）

(3) 取組の推進

推進委員会同様、感染予防に配慮しながら、各地区の状況に合わせて取組を推進します。参考に、令和2年度～3年度における各地区の取組をご紹介します。

- ・「防災から福祉を考える」を共通テーマにして、R2年度までに行ったまち歩きの情報マップをマップ化し配布（日吉）
- ・子育て支援部会のお話合いの継続とイベントカレンダーの作成（綱島）
- ・「ザ・ニュース大曽根」の発行（大曽根）
- ・LINEの公式アカウントによる地域情報の発信（樽町）
- ・認知症予防・居場所づくりのためのスリーA、ラジオ体操の各地区で実施（菊名）
- ・空き家を活用したカフェ＆ランチFlatの継続開所、オンラインでの取組実施（師岡）
- ・ホームページや広報紙を活用した地域情報の発信（大倉山）
- ・情報分科会においてホームページの運営、活動団体の情報掲載支援（篠原）
- ・推進組織や推移と成果、地域の活動を紹介する広報紙作成（城郷）
- ・畑を利用した住民交流の促進（新羽）
- ・「子育てサロンよしだっこ」の継続実施（オンライン開催含む）（新吉田）
- ・自治会町内会長・委嘱団体代表者を対象に「コロナ禍における活動アンケート」を実施し、地域活動の状況を把握（新吉田あすなろ）
- ・コミュニティカフェ「ゆずの樹」を使った地域活動の実施（高田）